平成 18 年度広島市優良技能勤労者表彰※を受けて

精密健診科　張本和江

この度、広島市優良技能勤労者表彰を受賞いたしましたことをご報告いたします。

張本和江（はりもとかずえ/勤続 24 年）
職場にて撮影

思えば新卒で広島市医師会臨床検査センターの一員となり、右も左もわからないまま臨床検査技師として超音波検査に携わってまいりました。当時、超音波検査は新しい検査法として注目を集めていたころでした。経験のない新人技師でした私は大きなプレッシャーを感じておりましたが、周囲の方々の温かいご支援のおかげで、大過なく過ごすことができ、現在の自分があるのだと思います。

超音波（エコー）検査をする張本

今まで多くの患者さんに接して思うのは、患者さんは常に不安を感じて検査にいらっしゃるということ。時にはあまりの不安に涙ぐんで来られた方もいらっしゃいました。そういうお姿を見るにつけ、少しでも不安を取り除いてあげられたら、と考えます。検査中に交わす会話で、「気分が晴れた。」と患者さんに言われ、明るい顔で帰られると、検査は技術だけではないのだと実感します。

しかしながら、超音波検査は検者（技師）の技術が検査結果に影響を与えるので、知識はもとより経験を積むことが大切です。まだまだ未熟者ではありますが、幸い研修会等に参加させていただく機会も数々あります。これからも技術を磨くべく、精進してまいりたいと思います。

※平成 18 年度広島市優良技能勤労者表彰：
長く同一の職業に従事し、技能の練磨や後進の育成に努めている優秀な技能者を讃えるため、「平成 18 年度広島市優良技能勤労者表彰式」が平成 18 年 11 月 24 日（金）に行われました。平成 18 年度は 80 人の技能者が表彰を受け、秋葉忠利市長から職種別の 6 つの部門の各代表者に表彰状を手渡されました。